

島根リハビリテーション学院の入学式が、4月8日に開催されました。

25期目となる今年度は、理学療法学科31名、作業療法学科33名の計64名が入学しました。新入生代表の小野佳純さん(作業療法学科)は、自身の祖父のリハビリを手伝った体験から「リハビリを通して、多くの人が今よりもっと健康になりたいと思えるパワーの源となるような療法士を目指し、4年をかけてこの地で学び、国家試験合格に向けて努力を惜しまず、成長していきます。」と誓いの言葉を述べました。

入学生は、これからは、それぞれ目標に向かい、奥出雲で4年間のキャンパスライフを送ります。



### 島根デザイン専門学校入学式

島根デザイン専門学校の入学式が、4月8日に開催されました。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う入国制限の影響により、留学生の入学はありませんが、国内から4名が入学しました。入学式では、在校生が、「わからないことや知りたいことを自分から進んで学んでいく姿勢と、自ら行動していくことによつて、たくさんの可能性を見つけることができると思います。」と述べ、新入生を歓迎しました。

新入生はこれから2年間かけて、ITやデザインについて専門的な技術を学びます。



特旨叙位(正六位)及び特別叙勲(旭日双光章)

故立花利朗さん(横田)

立花さんは、昭和36年10月から、9期31年3月にわたり、横田町議会議員を務められ、その間、横田町議会総務常任委員会副委員長や都市計画推進特別委員会委員長等を歴任されました。豊かで潤いのある町を築くため、主要地方道横田多里線街路事業等、総合的な町づくりに取り組み、現在の横田庁舎など公共施設の再配置や下横田住宅団地の造成などの生活基盤整備、並びに中心市街地活性化の推進など、地方自治の発展と住民福祉の向上に貢献されました。これらをはじめとする多数の功績により、この度叙位及び叙勲の栄に浴されました。

高齢者叙勲(旭日単光章)

安部定吉さん(横田)

安部さんは、昭和52年10月から3期12年にわたり横田町議会議員を務められ、その間、横田町議会建設常任委員会副委員長を務められました。任期を通じ、横田公園整備事業、国道314号の早期改良事業、横田地区都市計画事業の推進など、地方自治の発展と住民福祉の向上に貢献されました。これらをはじめとする多数の功績により、この度叙勲の栄に浴されました。



### 地域おこし協力隊 委嘱書交付式

4月1日に、役場仁多庁舎で、地域おこし協力隊に対する委嘱書の交付式がありました。地域おこし協力隊は、地方自治体から委嘱を受けて地域おこしに取り組む制度で、都市から過疎地域に移住した方を対象とし、任期は最長で3年間です。交付式では、令和4年度から新たに着任する3名と、令和2年度と3年度から継続して取り組む6名の、あわせて9名の隊員に委嘱書が交付されました。

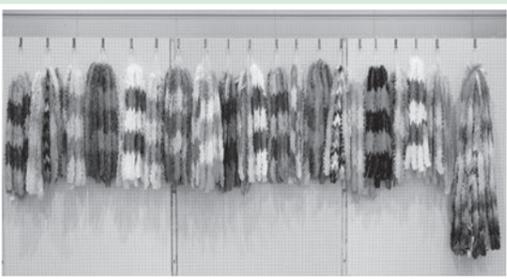


交付式において、勝田町長は、隊員は都市での居住経験があることを踏まえ、「地域おこし協力隊の皆様は、それぞれがお持ちの新しい感性や刺激を地域に持ち込んで課題の解決を進めていただき、地域の活性化に資する活動に当たって頂きたいと考えております。」と、隊員に対する期待を述べました。隊員は、これから、教育や産業など、委嘱を受けた分野で今年度の活動を行います。

### 新型コロナウイルス感染症の終息を願う千羽鶴が寄贈されました

上阿井の川角靖様、貞子様ご夫妻より、奥出雲町に対し、新型コロナウイルス感染症の終息を願って、7160羽の千羽鶴の寄贈をいただきました。

町では多くの方にご覧いただくため、4月8日に、カルチャープラザ仁多の新型コロナウイルス感染症のワクチン接種会場に展示しました。幅120cmのパネル3枚を並べて飾り付けられた、色とりどりの折り鶴が、ワクチン接種に来場された方々をお迎えしました。



### JR木次線の観光列車「奥出雲おろち号」の今シーズンの運行が4月10日に始まりました。

運行の開始にあたり、始発となる出雲市駅で、知事のほか関係者が出席し、出発式が開催されました。奥出雲町の最初の駅となる出雲八代駅では、地元の方々や鉄道ファンが集まり、トロッコ列車の入線をお迎えしました。



出雲八代駅に入る奥出雲おろち号